

# ITOSUGI

## いとすぎの丘



オープンキャンパス



ワクチン接種



豊田西高等学校SSH成果発表会

### オープンキャンパス

Pick Up



2年ぶりに対面式でのオープンキャンパスを開催しました。

- 大学行事  
オープンキャンパス  
オープンキャンパスmini  
ZOOM個別相談会
- 地域貢献  
ワクチン接種  
フードドライブ  
豊田高等学校健康生活支援講習  
豊田西高等学校SSH成果発表会
- 大学の活動
- Information

## 待望のオープンキャンパス!

### —万全の感染対策と学生・教職員の協力による実現—

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況に配慮して、対面でのオープンキャンパスを中止しました。しかし、直接話を聞きたい、学校の様子を見たいという要望もあり、今年度は感染対策に十分配慮をした上で、参加者の皆さんに楽しんでもらえるように計画し、7月17日(土)に対面でのオープンキャンパスを実施しました。午前、午後の2回で合計180名の高校生に参加していただきました。

感染対策では、3密を避ける環境作り、消毒やマスク着用、症状チェックなどを徹底する方法を考えました。特に難しかったのは環境作りです。本学のオープンキャンパスの魅力は、学生や教職員との交流だと思っていますが、どうしたら交流を実現できるかを担当で検討を重ねました。普段のように、自由に希望の場所を見学してもらう形はとれませんでした。10人程度のグループを組んで、看護体験、模擬授業、キャンパスツアーを在學生と一緒に回ってもらうコース制で行いました。決められた時間ごとに次の場所へ移るといった制約はありましたが、密を避けながら、様々な領域の看護や授業、大学内の設備を実際に見てもらい、看護の魅力やイメージをつかんでもらえたと感じています。午前・午後を完全入れ替えの2部制にしたことで、200人弱の高校生の皆さんを受け入れることができ、アンケートにも、満足できたという結果が書かれていました。

また、同時に相談コーナーも設け、相談を希望する高校生や保護者への対応も行いました。相談はチケッ



ト制にして、時間予約を行ったことで、密を避けつつ、スムーズに十分な時間をとって対応することができました。特に、在學生が熱心に誠実に対応し、入試対策や大学の魅力を伝えたことは、高校生には、とても心強く励みになったことと思います。

体験や相談時には笑顔や笑い声があふれ、看護学生としてモデルとなる学生の様子を感じてもらうことができました。高校生の「頑張ります」という言葉に、大学関係者も開催して良かったという気持ちを抱きました。さらに、多くの保護者の方々の参加もあり、奨学金や学納金、受験方法など親ならではの心配事についても、説明することができました。

今回は密を避けるということで、大会場で集合する説明会を行いませんでしたが、実際の相談内容からは、全体に周知した方が良い内容もありましたので、今後

は、感染対策にも配慮しながら、大学全体の説明をする機会も検討していきたいと考えています。

最後に、対面でのオープンキャンパスが実現できたのは、多くの在學生、教職員の協力があったからです。単科の小規模の大学だからこそ、いざという時に協力体制を作って、皆で協力し合えることが本学の良さだと改めて感じる事ができたイベントでした。今後も、社会の状況に合わせて、柔軟に対応できる企画として考えていきたいと思っています。



## オープンキャンパスmini

8月20日(金)と10月2日(土)にオープンキャンパスminiを開催いたしました。

昨年と同様、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、両日とも午前・午後の2回に分け、人数を制限しての開催としました。

オープンキャンパスminiは、①高校生とその保護者を対象に、在学生との交流や体験デモンストラーションを通して、本学の魅力や特徴を知っていただく。②施設見学やグループ・個別相談(学生生活、入試対策、奨学金)を行うことで入学後の学生生活をイメージし

ていただくことを目的としています。

具体的なプログラムは、本学の特徴やカリキュラムの説明、新型コロナウイルス感染症対策の講義、キャンパスツアー、看護体験デモ、受験対策や学生生活についての意見交換、進路相談や就職・奨学金などの個別相談です。

看護体験デモは、血圧測定を行いました。血圧とは何か、血圧をどう測定するのか、教員から講義を受けたのち、実際に血圧計や聴診器を用いて、ペアになって測定を体験していただきました。在校生が、血圧測定時のポイントや送気球の扱い方など、優しく、丁寧に説明していました。聴診器からコロトコフ音が聞こえると「聞こえた〜」「やったね!」と高校生から歓喜の声があがりました。血圧測定の説明だけでなく、形態機能学の教科書を持ってきてどんな勉強をするのか、説明をしてくれる在校生もいました。在校生の熱心な姿は保護者の方々にも好評で、本学に対する良いイメージを持っていただけたかと思います。

参加者は、両日で計106名と多くの方々に参加していただきました。両日とも晴天に恵まれましたが、それ以上に高校生の笑顔が晴れ晴れとしていました。



## 受験生のためのZoom個別相談会

令和4年度の学校推薦型選抜試験を希望する受験生に、8月28日(土)、9月18日(土)、10月9日(土)の3回、オンラインによる個別相談会を実施しました。本学2年生の有志6名とのべ28名の受験生と座談会形式で、「面接の対策」から「サークル活動」など受験対策や大学生活について、様々な受験生の質問に答えることができました。愛知県外から16名の受験生に参加していただき、オンライン開催の手ごたえを感じています。また、「大学は高校と違って、自分のやりたいことや興味が

あることにとことん打ち込めるので楽しい」「演習は対面授業なので同じ看護を目指す仲間と励ましあいながらできる」など、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により学生生活が制限される中でも、将来の夢に向けて頑張っている在学生の姿も垣間見ることができました。

このような交流が、受験生への応援メッセージになっていることを願います。



## 新型コロナウイルス感染症ワクチン集団接種の支援

### 新型コロナウイルス感染症ワクチン集団接種支援班

我が国においては、新型コロナウイルス感染症を予防する対策として、2021年2月より、医療従事者から始まり、高齢者・一般市民へと、ワクチンの集団接種（以下、集団接種）が全国規模で展開されています。

本学では、赤十字の看護大学として、日本赤十字社の使命「人間の健康を守る」に貢献すべく、豊田市の予防接種事業である集団接種の会場として大学施設を提供すると共に、5月から日曜日毎に、教職員もワクチン接種支援への協力を行っています。予診やワクチン接種、接種後の観察には医師免許、看護師免許を有する教員が、そして大学設備の調整や豊田市との連絡等の対応には職員が従事し、大学教職員総出の体制で、市民の皆様にも、安心して、気持ちよくワクチン接種を受けていただけるよう支援を行っています。

ワクチン接種については、重篤な副反応が心配されていますが、幸いにも本学の接種会場では、治療を必要とする副反応は見られていません。ワクチン接種後、少なくとも15分間は、副反応の出現に備えて待機することが

求められます。この待機時間を利用して、待機会場では、本学の感染制御の専門家（Infection Control Doctor：ICD）が作成した感染予防行動に関するDVD（15分間）を繰り返し上映し、新型コロナウイルスの感染予防に関する基本的な知識と具体的な対策について、情報提供を行っています。



## 本学を会場にフードドライブを実施しました

8月3日（火）11時30分から14時40分まで本学のセミナールームを会場として豊田市環境部ごみ減量推進課主催のフードドライブが開催されました。

フードドライブとは、家庭で消費しない食品を集め、集まった食品を必要とする方に提供することで食品ロス削減の取り組みです。また、食品の貰い手として参加することも社会や地域が目指すSDGsへの貢献となります。

豊田市内の協賛企業から豊田市環境部ごみ減量推進課に届けられたのは、缶飲料、缶詰、乾物、お菓子等。

一人一つの紙袋にはそれらが2～3個入っていました。中には珍しい外国の食べ物や高級食材もちらほら…。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策として、一方通行で受け取る仕組みで行ったため、本学では「フードドライブスルー」と銘打って開催しました。多くの学生や教職員が参加し、自分好みの食品が入った袋を探して迷いに迷って選びました。

また、開催日に実習等で参加できなかった4年生には、自治会が中心となり、9月10日（金）12時10分から13時までフードドライブを開催しました。

どちらの開催も、選んでいる間は自然に笑顔になり、楽しい時間を過ごすことができました。お声掛けいただきました豊田市環境部ごみ減量推進課様にこの場を借りてお礼申し上げます。



## 豊田高等学校『健康生活支援演習』

8月3日(火)～5日(木)に愛知県立豊田高等学校の2年生が「健康生活支援演習」を受講しました。この演習は高大連携協定の締結に基づき、同校の「医療・看護コース」における教育の充実と活性化を図ることを目的に行われています。

例年、20名程度であった受講者は今年40名となり、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症蔓延禍、感染対策に留意し、講義は大講義室、グループワークは2つの講義室を使用し、実技演習は半数ずつに分け、密を避けて実施しました。

災害時の自助・共助についての講義やグループワーク、

三角巾を用いた応急処置、BLS（一次救命処置）と共に、今年話題に沿った内容・方法を心がけ、2つの新しい取り組みをしました。1つは、大学の電子媒体を活用し「内閣府防災の『避難行動判定フロー』」にそった「避難行動の判断」です。高校生たちはすぐにsurfaceとスマートフォンを使いこなして、身の回りに潜むハザードを探し、避難行動に繋げていました。2つ目は日本赤十字社の「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」を基に「こころのケア」について考えました。事例検討で普段何気なく行っている声掛けがとても難しく、そして大切なことだと気づく機会となりました。



## 豊田西高等学校スーパーサイエンスハイスクール成果発表会

7月29日(木)豊田西高等学校が主催する「スーパーサイエンスハイスクール成果発表会」に本学の教員と学生が参加しました。この発表会に本学は平成29年度より参加しており、地域の研究機関による研究発表として、本学の研究や取り組みについて発表しています。

今回は「日本赤十字豊田看護大学における新型コロナウイルスの時代の感染対策に関する教育的取り組みと地域支援」について教員が発表を行い、手指消毒の演習を学生が行いました。

本学のブースを訪れた高校生は、

教員の発表に興味深く耳を傾け、手指消毒の演習では、本学の学生が指先の消毒の重要性などをイラストや図を用いて説明し、高校生は熱心に演習に取り組んでいました。



## 先輩後輩の交流のために努力した日々

3年 栗田 佳奈

私はいとすぎ祭実行委員会に所属していました。昨年度、いとすぎ祭を開催することができなかった先輩たちの思いを受け、私たちは計画を進めてきましたが、開催まであと一歩のところまでコロナ感染が拡大し、中止となってしまいました。昨年度も開催することができなかったこともあり、すごく残念でした。

中止決定後、課題となったのは、2年連続で中止となってしまったことで、先輩後輩との繋がりがなく

なってしまうことでした。以前は、いとすぎ祭を通して3学年が交流を深めていましたが、その機会が失われた今、いとすぎ祭実行委員はなんとか交流の場を設けようと試行錯誤しています。

しかし、その企画も現実的には難しく、なかなか交流の場が持てずにいます。私が思う日本赤十字豊田看護大学の魅力は、先輩後輩の仲が良く、大学内が和気藹々とした雰囲気であることだと思います。

学校祭も開催できず、サークル活動もできない、また授業もオンラインであることからもどかしい思いをしている学生たちがたくさんいることは確かです。そんな学生たちの思いを背負いながら、以前の大学の雰囲気を取り戻すためにも、私たちがいとすぎ祭実行委員は活動しています。

活動において、もちろん楽しいことばかりではありませんが、人の喜ぶ姿を思っ企画をし、案を出し合うのはとても楽しいです。自分たちで考えた企画がうまくいったときには、大きなやりがいを感じることができると思います。この文章を読んで、少しでも興味を抱いていただいたのなら、是非私たちと一緒に楽しい大学生活を実現させましょう。



## 授業紹介 看護管理学Ⅰ

看護管理学は馴染みが薄く、看護部長などの管理職が学ぶべきことという印象を持つかもしれませんが、看護管理は新人看護師や看護学生にも求められるものです。本学では、2年次前期の「看護管理学Ⅰ」、3年次前期の「看護管理学Ⅱ」という必修科目において、看護管理学を体系的に学びます。本誌では、「看護管理学Ⅰ」でのチーム医療に関する授業を紹介します。

まず、チーム医療の概念や病院で働く様々なヘルスケアワーカー、多職種チームの構成メンバーについての講義を受けます。その後、数名ずつのグループに分かれて、多職種チーム医療についての「メタファー学習」を行います。メタファーとは「隠喩」という意味で、難しい概念を何か別のものに喩えることで理解するという学習方法を「メタファー学習」といいます。学生に与えられたお題は、「チーム医療を料理（メニュー）に喩え、絵で表現してみましょう。そして、その絵をもとに話し合った創造的チーム医療について説明して下さい」というものです。その際、①グループメンバー全員が知っているメニューであること、②どの職種をどのような食材と捉えたか、またその理由は

何かも考えること、③全員の合意で決定することという3つのルールを設定しました。

学生たちがチーム医療のメタファーとして挙げたメニューは、カレーライス、ピザ、お鍋、恵方巻、たこ焼きなど、多岐に渡っていました。例えば、ピザを挙げたグループは、患者は医療の土台であるから「ピザ生地」、看護師は溶けて包み込むというイメージから「チーズ」と説明していました。メタファー学習によって、学生たちがチーム医療という概念をどのように捉えているかが可視化され、チーム医療における看護職の役割について学びを深めることができました。



■事業活動収入の部 (単位：円)				
区分	科目	予算額	決算額	差 額
教育活動収入	学生生徒等納付金	901,011,000	876,970,000	24,041,000
	手数料	31,512,000	15,947,500	15,564,500
	寄付金	4,676,000	12,002,646	△ 7,326,646
	経常費等補助金	128,518,000	136,166,633	△ 7,648,633
	付随事業収入	750,000	282,000	468,000
	雑収入	6,441,000	4,960,201	1,480,799
	内部取引	4,297,000	4,378,173	△ 81,173
	<b>教育活動収入計</b>	<b>1,077,205,000</b>	<b>1,050,707,153</b>	<b>26,497,847</b>
外教育活動収入	受取利息・配当金	10,551,000	10,020,117	530,883
	その他の教育活動外収入	0	0	0
<b>教育活動外収入計</b>	<b>10,551,000</b>	<b>10,020,117</b>	<b>530,883</b>	
特別収入	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	350,000	66,002,188	△ 65,652,188
<b>特別収入計</b>	<b>350,000</b>	<b>66,002,188</b>	<b>△ 65,652,188</b>	
<b>事業活動収入計</b>	<b>1,088,106,000</b>	<b>1,126,729,458</b>	<b>△ 38,623,458</b>	

■事業活動支出の部 (単位：円)				
区分	科目	予算額	決算額	差 額
教育活動支出	人件費	709,075,000	654,272,062	54,802,938
	教育研究経費	330,643,000	333,769,832	△ 3,126,832
	管理経費	88,944,000	73,394,684	15,549,316
	内部取引	18,293,000	17,495,290	797,710
	<b>教育活動支出計</b>	<b>1,146,955,000</b>	<b>1,078,931,868</b>	<b>68,023,132</b>
外教育活動支出	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
<b>教育活動外支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
特別支出	資産処分差額	3,430,000	5,285,036	△ 1,855,036
	その他の特別支出	0	0	0
<b>特別支出計</b>	<b>3,430,000</b>	<b>5,285,036</b>	<b>△ 1,855,036</b>	
<b>事業活動支出計</b>	<b>1,150,385,000</b>	<b>1,084,216,904</b>	<b>66,168,096</b>	
基本金組入前当年度収支差額	△ 62,279,000	42,512,554	△ 104,791,554	
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△ 177,054,000</b>	<b>△ 62,906,610</b>	<b>△ 114,147,390</b>	
<b>当年度収支差額</b>	<b>△ 239,333,000</b>	<b>△ 20,394,056</b>	<b>△ 218,938,944</b>	

令和2年度の財務状況は、学内Wifi導入、コージェネレーションシステム更新により、239,333千円の支出超過予算でしたが、人件費支出の減少及び特別収入（補助金）の増加により、当年度支出差額は20,394千円の支出超過となり、218,938千円圧縮することができました。

## 令和3年度後期公開講座・専門職向け研修会日程

### ■公開講座

日時	領域	テーマ	備考
令和3年12月18日(土) 13:00~15:00	精神看護学	第4回こころの健康づくりシンポジウム 「未来を創るArtとCareの対話」	Zoom開催
令和4年1月13日(木) 13:00~14:30	老年看護学	知って安心、認知症のこと	

### ■専門職向け研修会

日時	領域	テーマ	備考
令和4年1月22日(土) 13:00~16:00	愛知県立大学 森田恵美子 教授	現場で活かす医療メディエーション	
令和4年2月16日(水) 13:00~16:00	精神看護学	ストレングスモデルの実践的展開 臨床判断力を育てるには	
令和4年3月12日(土) 13:00~16:00	看護管理学	指導に役立つマネジメントリフレクション	

## 卒業生・修了生向け複写文献郵送サービスの運用開始

卒業生・修了生の皆さんへ

**「複写文献郵送サービス」をご利用ください。**

学術情報センター・図書館では、今年6月から卒業生・修了生を対象に「複写文献郵送サービス」を始めました。これは、卒業後の学習・研究を支援するため、ご希望の文献を複写しご指定の場所まで郵送するサービスです。当館所蔵の資料に掲載された文献や、他大学図書館から取寄せた複写文献をお送りします（料金は郵送料込みで1件500円）。申込方法など詳細は大学のホームページに掲載。ぜひ、ご利用ください。

**大学HP** ⇒ **卒業生の方** ⇒ **卒業後支援窓口** ⇒ **複写文献郵送サービス**

(学術情報センター・図書館のページからも入れます)

●問合せ先: 学術情報センター・図書館

Tel : 0565-36-5119

Mail : bunken@rctoyota.ac.jp

# Information

## Event

### ■大学行事

11	1日(月)	推薦選拔出願開始 ～19日(金) 高等学校長推薦・ 赤十字特別推薦・社会人	20日(木)	大学院入学試験出願開始(～2月3日(木))	
	28日(日)	推薦選抜	29日(土)	大学独自選抜	
12	3日(金)	推薦選抜合格発表	7日(月)	大学独自選抜合格発表	
	29日(水)	年末年始休業(～1月3日(日))	14日(月)	大学入学共通テスト利用選抜(前期)合格発表 大学入学共通テスト利用選抜(後期)出願開始 (～24日(木))	
1	4日(火)	授業再開 大学独自選抜・大学入学共通テスト利 用選抜(前期)出願開始(～20日(木))	19日(土)	大学院入学試験	
			28日(月)	大学院入学試験合格発表	
			3	5日(土)	大学入学共通テスト利用選抜(後期)
				10日(木)	大学入学共通テスト利用選抜(後期)合格発表
				16日(水)	卒業式

## 寄付者ご芳名

募金へのご協力に心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

総額 5,315,000円

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う学修支援金 総額 2,750,000円 (募集期間 2020年10月1日～2021年3月31日)	日本赤十字豊田看護大学サポーターズ募金 “いとすぎ募金” 総額 2,565,000円
下間正隆 様 金岡哲二 様 日本赤十字豊田看護大学後援会 様 三河内憲子 様 高野美代子 様 日本赤十字豊田同窓会 様 はしたにクリニック 様	三河印刷株式会社 様 新美達也 様 株式会社オンワードパーソナルスタイル 様 日本赤十字豊田同窓会 様

※5,000円以上のご寄付を頂いた方を掲載しております。奨学寄付、匿名希望の方は表記されておりません。

## 寄付のお願い

教育研究環境充実のための設備や教育資材等を適時、適切に整備し、学生に対して十分な教育環境と学生生活の支援を行うことを目的として、日本赤十字豊田看護大学サポーターズ募金“いとすぎ募金”を創設いたしました。是非とも“いとすぎ募金”の趣旨をご理解・ご賛同いただき、皆様からのご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

### 1. 活用方法

①教育活動の充実 ②研究活動の充実 ③奨学金制度の充実 ④学生生活の支援 ⑤施設整備の充実 ⑥社会連携の推進

2. 金額 1口 5,000円(個人) 1口 10,000円(法人)

※1口から10口程度お申込みいただけますと有難く存じます。

### 3. 税制上の優遇措置

本学への寄付金は、税制上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。

申込方法等の詳細は、ホームページをご確認ください。

ご寄付のお願い (<https://www.rctoyota.ac.jp/general/donation.html>)

## 最新情報をチェック!

### 入試情報や最新情報を発信していきます

#### LINE 公式アカウント



#### Instagram



#### Twitter



愛知県内の赤十字施設の共同Instagramを開設しました【@nisseki\_aichi】

## 編集 後記

残暑が厳しかった夏も終わり、大学から見える景色も秋めいてきました。新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、大学においても新たな生活様式・授業スタイルが定着しつつあるように思います。「いとすぎの丘」Vol.34では、昨年度実施できなかった「オープンキャンパス」や学生を支援する「授業紹介」についてお届けいたしました。執筆にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

今後も学生と教職員の魅力ある活動を紹介していきたいと思しますので、ご協力の程お願いいたします。

## いとすぎの丘 Vol.34

発行日/2021年11月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 FAX 0565-37-8558

E-Mail [kikaku-ka@rctoyota.ac.jp](mailto:kikaku-ka@rctoyota.ac.jp)

HP <https://www.rctoyota.ac.jp/>